

箱根四季だより



自然情報・イベント情報を
Facebookで更新中。

2023年 秋号



秋は紅葉狩り

秋は紅葉狩り!

[紅葉狩り]

紅葉を見物する行楽。
「風情」を楽しむ行為。
※葉っぱを狩るわけではありません。



箱根の紅葉は10月中旬から12月上旬まで、割と長く狩りを楽しむことができます。標高の高い芦ノ湖周辺地区から、徐々に紅葉前線は山を下ってきて、最終的には箱根湯本へ。箱根では自分の都合の良い休暇に合わせて紅葉狩りができるのが特徴的です。



ビジターセンター園地
～紅葉～
☎ 10月下旬～11月上旬



芦ノ湖から
～紅葉前線の始まり～
☎ 10月下旬～11月上旬



宮ノ下地区より
～渓谷とのコラボ～
☎ 11月中旬～11月下旬



仙石原長安寺
～紅葉散歩～
☎ 10月下旬～11月上旬



湯本駅
～紅葉前線の最後の砦～
☎ 11月終わり～12月上旬ごろ



甘い果実は誰のため？

記：伊豆川

秋になると、箱根では、ツリバナやガマズミなどの美味しい果実が楽しみです。甘くて美味しい自然の恵みです。

クイズ なぜ、植物は、こんなに美味しいごちそうを作ってくれるの？

- ① 人間生活に恵みをもたらすため？
- ② 美しさを競うため？
- ③ 森のなかま（鳥や獣）へ1年の感謝を込めたご褒美
- ④ 植物が新天地を見つけるため？

ヒント
植物は移動
できる？



ツリバナ ニシキギ科
果皮が割れて、中から
種子が、ぶら下がる。
ヒヨドリ等が食べる。



ツルウメモドキ
黄色い皮が反り返り赤い
果実がでてくる。
ウソやメジロ等が食べる。

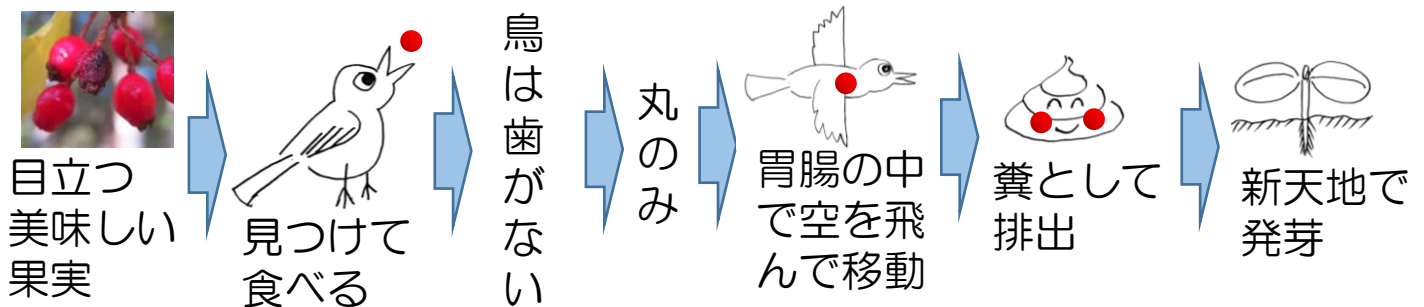


ガマズミ
渋いと未熟。晩秋になると
完熟して甘酸っぱくなる。
ツグミやメジロ等が食べる。

植物にとって自分が根をはってる土地は、将来、崖崩れや洪水で表土が流されてしまうかもしれません。日照りで乾燥して枯れてしまうかもしれません。

対策として、自分の種子を、あちこちに、まいて、生育させておけば、自分が枯れても、子孫が生き残れるので、絶滅を逃れることができます。

しかし、自由に移動するための足も翼もありません。そこで鳥に運んでもらう戦略（鳥散布）をとったのです。



？獣は？

タヌキやアナグマなども果実が大好きですが、種子を歯でかみ砕いてしまうので、植物側からすると鳥に運ばせるより運搬の成功率が下がります。

答え：④植物
が新天地を見
つけるため。

金時山

文と写真：しかの

今年7月17日金時山を歩きました。いい汗をかいてリフレッシュ。
楽しい山歩きでした。まだまだ暑い日が続くので熱中症対策を万全に！



ケイワタバコ



ハコネコメツツシ



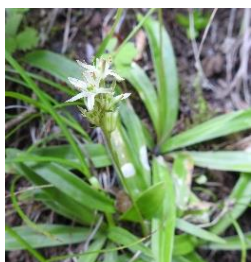
タテヤマギク



オヤマボクチ



コバギボウシ



ノギラン



シモツケ

10:52 金時山 山頂到着
11:40 出発



シモツケソウ



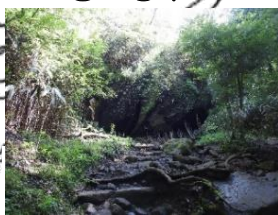
9:42
林を抜けると
展望が開けます。



オトギリソウ



ヤマユリ



下り登山道



公時神社



登り登山道



フジアカショウマ



サンショウバラ



8:25
スタート

13:18
ゴール



ウツボグサ



ニホントカゲ



箱根小話いろいろ

箱根在住60年
ナチュラリスト

記：白土信子

仙石原草原の秋

箱根山、その中程に箱庭のようなこじんまりとした緑葉、
県道を挟み南側、台が岳の裾野はススキ原、
側は仙石原湿原です。ススキ草原、仙石原湿原の
保護に向けては、山焼き、青草刈り、外来植物の除去等
を行っております。

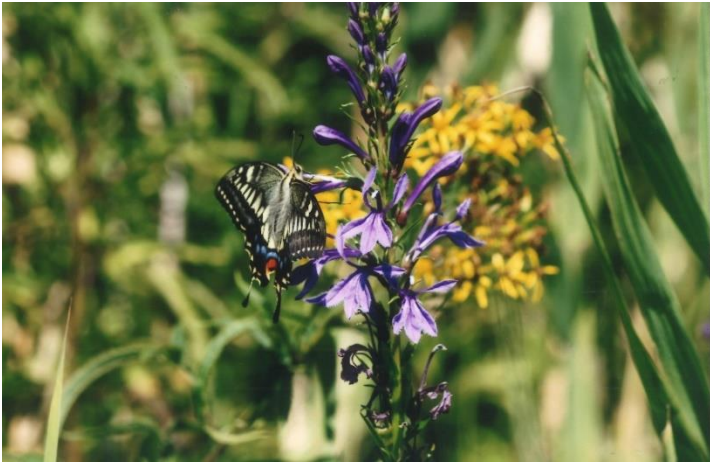


背の高いススキ、ヨシの根元には、動物、昆虫、背丈の低い植物などが生息し
ています。

ススキの穂が出そろったころ、鳴く虫の声、ルールーと、カンタンです。
おなじみのエンマコオロギの声もきこえます。アキアカネ、ミヤマアカネ、
ハラビロトンボなども飛び交います。

湿原特有のマアザミ、サワギキョウにはチョウたちが吸蜜にきています。
少し乾いた所にはオミナエシ、マツムシソウが咲いています。

湿原の方には入ることはできませんが、歩道の所でしばし足をとめ、耳をかた
むけ、草花を見、風を感じて秋を楽しみましょう。



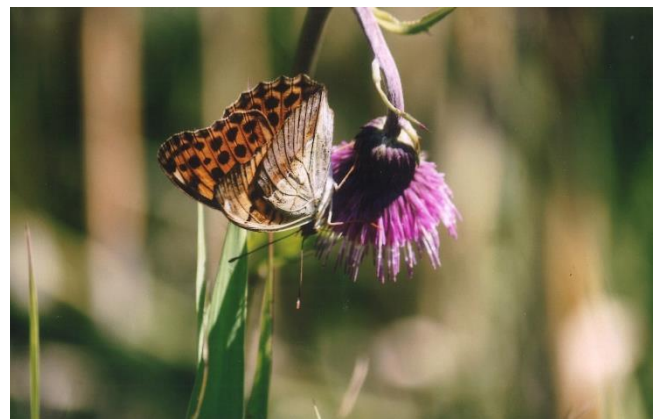
サワギキョウに来たキアゲハ



ハラビロトンボ



ミヤマアカネ



マアザミに来たオオウラギンスジヒョウモン

箱根VC周辺自然情報トピックス

少ない雨 ☂ と 猛烈な暑さ ☀



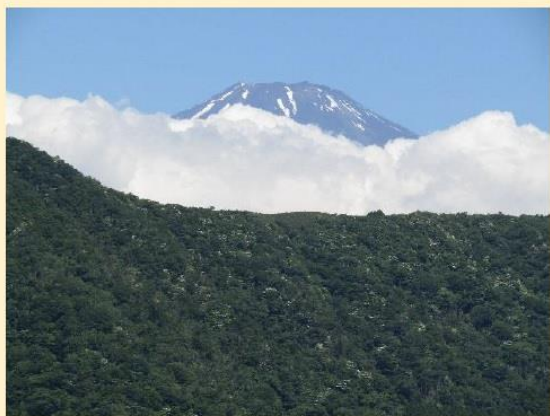
ピンクのクマさん (冠ヶ岳)

5/15、火山ガスに強い
ツツジや、イワカガミの花が
山肌を染めています。



ヤイロチョウ

6/1、南の国から渡って来た
宝石のように美しい鳥
ここ数年、情報が増えているようです。



富士山

6/17、ヤマボウシの花が目立つ
外輪山の向こうに
夏の富士山が顔を出しました。



ヤマユリ

7/23、今年はあちこちで
綺麗に咲きました。
イノシシが減ったから!?

- 5/8、野鳥の森 モリアオガエル産卵
- 5/17、VC サンショウバラ開花
- 5/20、森のふれあい館 ホトトギス初音
- 6/8、関東地方梅雨入り

- 6/15、仙石原 ゲンジボタル飛び始め
- 6/23、早雲寺 ヒメハルゼミ羽化
- 7/3、湯坂路 ツキノワグマ?糞確認
- 7/22、関東地方梅雨明け・ヒグラシ大合唱

イベント情報

紅葉の箱根路を訪ねて

旧街道の石畳や歴史深い池をめぐり、秋の移ろいを楽しみましょう。

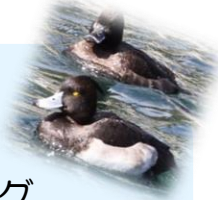
開催日：11月14日(火)
集合：恩賜箱根公園駐車場 10:00
解散：石仏群と歴史館 14:30(予定)
費用：保険代 100円
締切：10月31日(火) 必着



箱根の冬鳥観察会

芦ノ湖畔でバードウォッチング

開催日：11月28日(火)
集合：森のふれあい館 10:00
解散：森のふれあい館 14:30(予定)
費用：保険代 100円
締切：11月14日(火) 必着



参加希望の方は、イベント名・参加者全員の氏名(ふりがな)・性別・年齢・住所・電話番号を記載の上、下記方法にてお申込みください。詳細はHPに掲載しています。

1. 往復はがき：250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町164 「箱根ビジターセンター」宛
2. メール：hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

お知らせ

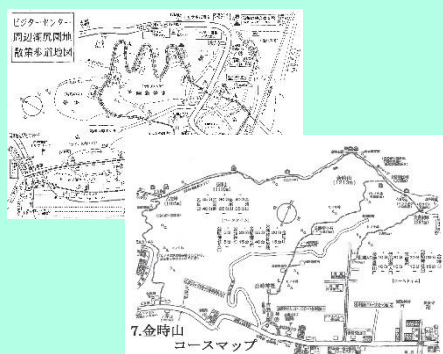
環境省 アクティブレンジャー写真展開催

2023年10月31日(火)～11月26日(日)

9:00～17:00(最終入館16:30まで)

※11月13日(月)は休館のためお休みです。

主に野外での巡視や保全活動を担当するアクティブレンジャーが地域の雄大な自然や動植物をご紹介します。日々、自然と向き合う職員の写真は圧巻です。



各ハイキングコース地図を館内で配布しています

箱根ビジターセンターでは周辺の湖尻園地や各ハイキングコースの手作りマップを作成しています。最新のルート状況等をお伝えするため、HPでの配信はしておらず、手渡しでの配布にさせていただいております。出発前にお立ち寄りください。

箱根ビジターセンター周辺 自然歳時記

見どころ ススキの穂が出揃う
冠ヶ岳から紅葉前線が下り始める

開花植物 キントキヒゴタイ・キンミズヒキ・シロヨメナ・ツリフネソウ・ツルポ・ノコンギク・ホトトギス・マツムシソウ・ミズヒキなど

実 エゴノキ（ヤマガラの大好物）・ガマズミ・ツチアケビ・ミズキ・ヤマボウシ

その他 シカの声・虫の声が聞こえる、ヤブガラシの花にスズメバチが集まる

見どころ ビジターセンター周辺の木々が色付き始める

開花植物 キッコウハグマ・センブリ・ツルリンドウ・ヤクシソウ・ヤマラッキョウ・リュウノウギク・リンドウなど

実 アオハダ・アケビ・クサギ・サルナシ・サンカクヅル・ツルシキミ・ドングリ類・マユミ・ミズキ・ヤマボウシなど

冬鳥渡来 オオバン・オシドリ・キンクロハジロ・ジョウビタキ・ヒドリガモ・ホシハジロ

その他 夏鳥（キビタキほか）渡去、旅鳥（エソビタキ・ノビタキほか）通過

見どころ ビジターセンター周辺紅葉見頃（ウリハダカエデ・イロハモミジ・オオモミジ・ケヤキ・ヤマボウシなど）
小塚銚子の鼻・千条の滝・宮ノ下八千代橋など各所で紅葉見頃

実 サルトリイバラ・ツルウメモドキ・ツルリンドウなど

冬鳥渡来 アトリ・ウソ・オカヨシガモ・カシラダカ・カンムリカイツブリ・コガモ・シロハラ・ツグミ・ハジロカイツブリ・ベニマシコ・マヒワ・ミヤマホオジロ・ルリビタキ



箱根ビジターセンターは国立公園・箱根地域の自然情報を発信しています。
周辺(湖尻園地)は明るい森の中に芝生広場や自然観察路が広がっており、春夏秋冬、それぞれに見どころがたくさんあります。

編集・発行：箱根自然解説活動連絡協議会

〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根164 箱根ビジターセンター内
TEL：0460-84-9981

箱根ビジターセンター

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

Email：hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

開館時間 9：00～17：00（最終入館は16：30）

休館日 毎月第2・4月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、12月28日から1月3日

管理・運営 一般財団法人自然公園財団箱根支部

